

東京の都市づくりの変遷

第1回 都市づくり調査特別委員会
平成27年9月9日

都市づくりの系譜 江戸～明治



都市づくりの系譜 大正～昭和

1910年 (明治43年) 1912年 (大正元年) 1920年 (大正9年) 1926年 (昭和元年) 1930年 (昭和5年) 1940年 (昭和15年) 1950年 (昭和25年) 1960年 (昭和35年) 1970年 (昭和45年) 1980年 (昭和55年) 1989年 (平成元年) 1990年 (平成2年)



出典：東京消防庁資料
関東大震災
1923年(大正12年)

「東京都」誕生
1943年(昭和18年)
第二次世界大戦



出典：東京都資料
東海道新幹線開通
東京オリンピック
1964年(昭和39年)

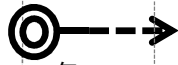
高度経済成長 都心一極集中

人口
1,400万人



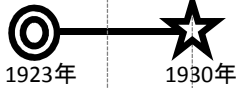
出典：国立国会図書館資料
後藤新平

「東京市政刷新要綱」
・重要街路、社会事業施設を計画
・8億円プラン



1921年

「帝都復興計画」
・関東大震災からの復興のため、
区画整理、公園、幹線道路等を計画
・30億円の想定→5億円に縮小

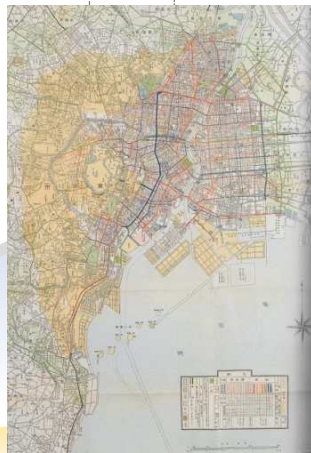


1923年

1930年



出典：東京都資料
永代橋



出典：東京都資料
震災復興事業計画図

「戦災復興計画」

- ・第二次世界大戦からの復興のため
区画整理、幹線道路を計画
- ・緊縮財政により計画が大幅縮小



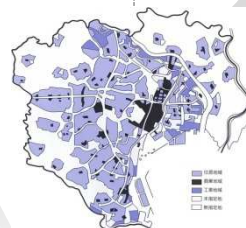
1946年

石川栄耀
安井誠一郎

オリンピック開催に向けた
各種事業



東龍太郎



出典：日本建築学会資料
戦災復興計画の区部土地利用図



出典：東京都資料
渋谷駅前広場



出典：東京都資料
多摩ニュータウン

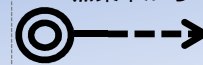


出典：東京都資料
新宿副都心

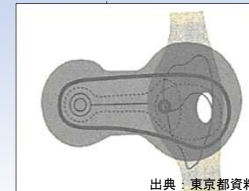
1,200万人

1,000万人

「広場と青空の東京構想」
・一点集中から二極構造へ



美濃部亮吉



出典：東京都資料
一点集中から二極構造へ

800万人

「東京都長期計画」
・都心一極集中問題への対応のため
多心型都市構造を計画
(副都心や多摩の心へ機能分散)



鈴木俊一



出典：東京都資料
多心型都市構造

400万人

200万人

都市づくりの系譜 1990年以降

1989年 (平成元年) 1990年 (平成2年) 2000年 (平成12年) 2010年 (平成22年) 2020年 (平成32年) 2030年 (平成42年) 2040年 (平成52年) 2050年 (平成62年)

昭和 平成

阪神淡路大震災 1995年(平成7年) 京都議定書 1997年(平成9年) 首都機能移転問題 2011年(平成23年) 東日本大震災 2011年(平成23年) オリハラ東京大会 2020年(平成32年) リニア中央新幹線(東京-名古屋) 2027年開通 リニア中央新幹線(東京-大阪) 2045年開通

人口

1,400万人

1,200万人

1,000万人

800万人

600万人

400万人

200万人



六本木ヒルズ(2002年)

出典：東京都資料



圏央道(中央～関越) 開通(2007年)

出典：国土交通省資料



舛添要一

「東京都長期ビジョン」

「世界一の都市・東京」の実現に向けた工程表
 ・史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現
 ・将来にわたる東京の持続的発展の実現



石原慎太郎

「東京構想2000」

2014年

2024年

「東京の都市づくりビジョン」

- ・需要対応型から政策誘導型へ
- ・環状メガロポリス構造の実現
- ・コンパクトな市街地への再編

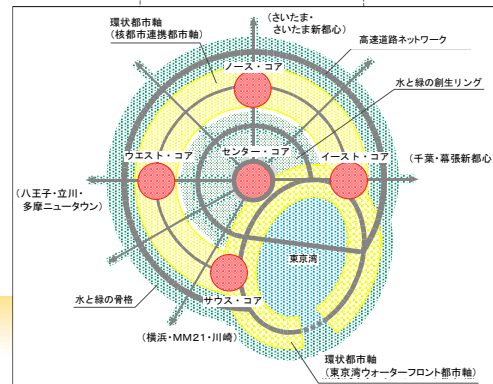
2001年

2009年

2025年

「生活都市東京構想」

青島幸男



環状メガロポリス構造 出典：東京都資料

2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋

高齢者人口

生産年齢人口

年少人口